

南総里見号

で行く 水仙の里

ハイウェイオアシス富楽里編



菱川師宣記念館
保田に生まれ、江戸に出た菱川師宣は、将世松の祖となりました。

源頼朝上陸地
治承4(1180)年、平家打倒の兵をあげました。石橋山の戦いに敗れ、8月29日海路この地に着いたそうです。

浮島
ウチワジラ
江戸時代には、浮島周辺で、よく捕獲されました。体長12m10cm

岩井袋崎攻基地
昭和20(1945)年、本土決戦に備え、特殊潜水艇の基地が作られました。人間魚雷「回天」などが配備されました。

浮島のはなし

浮島の西側の海底は、東京湾海底谷という深い谷が太平洋から続いています。この谷は鯨道と言われて、浮島に向かい鯨がやってきました。また、東国平定をした日本武尊(ヤマトタケルノミコト)を偲び、父の景行天皇が浮島にきて滞在された伝説があります。

妙本寺
日蓮の弟子、日郷が康永年間(1342~1345)に創建。日蓮の直筆「受染不動観見記」は、重要文化財

十王堂
室町時代中期の永享8(1436)~永享12(1440)年の墨書がある10体の像があり、鎌南町指定文化財

密蔵院・蛇骨
天保5(1834)年、山中で発見。実は、新種の鯨のサマクジラの化石。町の天然記念物

勝善寺
建久元(1190)年、創建。菱川師宣過去帳は、千葉県有形文化財。昔、移転の際、徳のある老師と慕って、たくエんの石が飛んできたという飛び石伝説が残っています。

滝沢馬琴
(1767~1848)
全98巻の「南総里見八犬伝」を28年にわたって執筆。

富山
富山 標高349m。27の山峰からなる双耳峰で、千葉県で7位の標高です。「南総里見八犬伝」の重要な舞台となりました。富楽里から約2時間と山頂です。

伊予ヶ岳
標高336m。関東百名山にも選ばれ、「房総のミッターホルン」の異名をもつ。約1時間と山頂へ。昔、天狗が住んでいた、木人に驚かしめられたと語りです。

平群天神社
文和2(1353)年、北野天満宮と勧請されたのが始まり。菅原道真が主祭神。「紙本着色天神縁起絵巻」は、千葉県有形文化財

伏姫籠穴
「南総里見八犬伝」の作中で、伏姫と忠犬の八房が暮らしたという籠穴です。

ご乗車ありがとうございます。
千葉みなと駅を出ました南総里見号は、約1時間30分でハイウェイオアシス富楽里に到着します。
停留所は、「南総里見八犬伝」の舞台となった富山やリアス海岸と浮島など海と山に囲まれ、路線の中でも屈指の風光明媚な場所です。
また、日本三大水仙の里として名高く、春には早咲きの頼朝桜(河津桜)などが咲き、夏の海水浴、ハイキングなど四季を通じて、アウトドアを満喫できます。この地域は、黄門様で有名な水戸光圈、俳人の小林一茶なども訪れるなど、長い歴史と不思議な伝説、豊かな自然を守り続けて後世に伝えています。どうぞ南総里見号にご乗車になり、楽しい一日をお過ごしください。